

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【数学】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 数学科の目標を達成するために、基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめるふり返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話し合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
- 数学的な見方・考え方を働かせるために、「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ単元末に分かったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性を図るため、単元内にある節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- これまでの学びや経験を生かすことについては、「ステップ方式」の利用問題で、解決の過程をふり返し、新たに発生した疑問をもっと調べてみたいと思ったことに進んで取り組む態度を育成するような工夫が見られる。
- 生徒一人一人の学力を身に付けさせるために、単元末の「学びを身につけよう」で、多種多様な問題を解くことができ、巻末の「数学広場」で興味・関心や習熟度など個に応じて学ぶことができるような工夫が見られる。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。